

陸軍

又特別緊急略號電報
北九三三五發所
西三一八者所受
北九〇二西四五參
西〇〇提受
出

臺北
臺灣
部
隊
長

昭示九〇

通電先總長

參一考支總

臺參電第一四一號

沖繩ニ於ケル調印概況左通報告ス

一、七月十一時三十分豫定、如ク米軍第一〇軍司令官スルウエ

大將ノ提示スル

北緯三〇度 東經一三二度 北緯二四度 東經一三二度

北緯二四度 東經一三三度 北緯二九度 東經一三一〇度

北緯三〇度 東經一三一〇分ノ地域内ニ在ル日軍

重

無條件降伏書ニ對シ第三十八師團長 [redacted] 中將奄美

大島 [redacted] 少將同 [redacted] 海軍少將ト連名ヲ以テ署名ス

但シ沖繩郡島内ノ既ニ米國軍ノ占據セル島嶼ヨリ本部

隊降伏ニ關シテハ本件ヲ採用セズト内示ス

ニ米軍ノ要求事項

一般ニ内地諸原則ト大差ナカリシモ冷嚴ニシテ全文命令ノ

實行ニ關シテハ聊カ假借ナシ

參電第七九七號(電註大陸指特第一號要旨)ニ關シ極力努


力シ左ノ點要求セルモ返答ナシ

(1) 俘虜トシテ取扱ハサル外現在ノ組織ヲ維持セシムコト

(2) 私物保有品(眼鏡、軍力ヲ意味ス)ヲ確保ス

(3) 給養對策ニ關シ考慮セラレ度

三 沖繩本島ニ於ケル特異事項左ノ如シ

以 第三四師團歩兵第三十二聯隊長  大佐以下約

三〇〇名健在ナリ

今次大詔確認後軍旗ヲ奉燒シ投降ス

(2) 慶良間島ニ於テハ數百名倅戰迄奮闘ス

(3) 大詔前ノ倅虜ト其後ノ投降者ニ對シテハ取扱ヲ別

シアリテ其ノ總數約八〇〇名ナリ

(4) 目下朝鮮  照會中

沖繩本島ニ於テハ倅虜ノ順序ニ待遇シアリ給養ハ概ナク

好ム認ナリ

(5) 沖繩本島ニ關シテ右處理ニ就テハ米軍最高指揮官ノ批

令ニ遵ヌトシ交渉ニ應出ス

(6)

大將

中將戰歿位置ハ墓標建立ニシテアリテ略

確實ナリ

中將モ自刃セリト(註(1)(3)(6)ハ兵ニ依リ調査)

四將校帶刀ニ關シテハ服裝令改正セザル限リ之ヲ拒絶ス
米軍ハ表向帶刀ヲ認メ

事件ニ關シテハ中將ノ一途ノ方針ニ依ラザレバ困難ナリ

終